

SMK AIポリシー

SMK株式会社およびその国内外子会社等(以下、SMKグループという)は、AI（人工知能）が企業活動や社会に新たな価値をもたらす重要な技術であると認識しています。

本ポリシーは、SMKグループにおけるAIの利用およびAIを活用した製品・サービス等の開発に関する基本方針を示すものです。

SMKグループは、AIを活用してお客様への価値提供、業務の効率化を推進します。また、人権を尊重するとともに、情報セキュリティ、法令・契約の遵守および企業倫理を重視し、信頼されるAIの活用に取り組みます。

1. 人を中心としたAIの活用

SMKグループは、AIを人の能力を補完し、創造性や生産性を高めるための技術として活用します。また、重要な意思決定においては人の適切な関与を重視し、その特性を踏まえてAIを適切に活用します。

2. 情報および知的財産の保護

SMKグループは、情報セキュリティの確保を重視するとともに、個人情報、機密情報および知的財産を適切に保護し、安全かつ適切なAIの活用に取り組みます。

3. 公正性・透明性の確保

SMKグループは、公平性に配慮したAIの活用にあつめるとともに、AIの能力と限界を正しく理解し、その特性を踏まえて活用します。また、AIを活用した重要な業務については、その利用方法や判断過程の透明性を確保し、必要に応じて説明できるようあつめます。

4. 責任あるAIの活用

SMKグループは、AIの活用に伴う責任を認識し、適切な管理体制のもとでAIを活用するとともに、その活用に関する説明責任を果たします。

5. 法令遵守と企業倫理

SMKグループは、AIの利用に関係する各国・地域の法令、規制、契約および国際的なルールを遵守するとともに、人権および企業倫理を尊重し、社会的責任を果たします。

6. 継続的な改善

SMKグループは、AI技術や社会環境の変化を踏まえ、本ポリシーを継続的に見直し、改善します。また、AIを適切かつ責任を持って活用できる人材を継続的に育成します。

SMK株式会社

2026年8月7日

常務執行役員(CIO)

宇佐美 博